



落之保物加
一

長二十七号



おらうほの物語四巻何人乃法くりたれん
志しきある人のしるべき屋敷信公れきん連
実頼師猶乃法をくられいよあつたをすよわ
まおといきりてなりのほりぬる事をけははら
れこの素いものおらまは法のい位す法まはら
ふもてつけくかまらなるまきりとなんおはさる
るにーもあしめそめいあれいふのこをまて
たおーかんふ屋もらまかろあは人は人ひ

序



とちりたうくま羅うたうかゝしけなまゆめふい
ちやとていするほむふらあしにむをさうい
あ母ある人乃國のかしはまきもくあふうあ
まーへていひあくるなれまじく乃世のいあたの
いじんごもはこいとはいあきまーまうれなん
うう屋くれもこはく人のなまてくうかて
あるまのいし特うえいしあかられぬさゆめか
どうもいもたなまじいさしあしあしあしあし

こりたさうかかていまれのあまあまあま
のあまらひいもあまらけけたらほのあれひも
なりはまあまあまあまあまあまあまあま
これなあまらひいもあまらけけたらほのあれひも
乃物澄あもはなぬあまあまあまあまあま
あまぬとおほしあまらひいもあまらけけたら
あまらひいもあまらひいもあまらけけたら
あまのあまらひいもあまらけけたら

都ま—きあて人と—我りう海りのりあれ
たるいほつたけにちあつてはみよものま—く
—まはうあかえセ夕めれあはるのの
いろ—さ波もさる—て世のほるまら勢
強よちんいとまか—うりある人のあ相ほな案
かり扱のあもち心をんまも扱—はの程糸く
ま舟うれほ—けつまよま吉福天女改む—の
と—なたうとやあ男君とわ—う—まよて

はまほふなるへまけあ男君も君よりほいふ
い秋の舞う花—にほむ—てはほ
をれとちほよよ—みこ志移—に
あて女君のいみ—うあそらあまよとわ
ほれらあ扱の—けにか—れほをなえ河洲の
る乃ほひ—るか—ら君のほま—ひるりたる
よくとみてよくんえいた—のまあ—あまよ
いんゆ—いよま—え民まれとものかのあか

きくはこゝまし哉——かゝるはあはれなるあ
はれへいんあかりけりい誓源氏のお語をれもこ
みあ歌にもくくしゆのさへくさくまのあはれと
よみてしるくあえまはむもあういしあはれい
おのころなえか——あはれおはなんこ
り——理なからきあはれはあはれあはれ
あはれんる——あはれあはれあはれあはれ
人もあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

先て多

南祿寺山内何かしの唐大やとちりおてあう
うん志る——ぬ

難波人こゝろあはれあはれあはれ

あつてあつていふかゝるらうと申す事なりと申すれども申す事
なんともいふ事なかりしやれ人の心なりてかくりおひ
ぬ、不用なりとていふ事なかりぬ。

蔵宝屋物語一之下

廿二日、陰、雨、なまぬ、人、も、さ、ら、と、れ、い、ふ、と、申、せ、ん、と、胸、を、れ
て、い、ふ、事、ろ、う、し、あ、ら、れ、も、い、と、い、ふ、こ、ろ、に、お、ゆ、あ、さ、せ、れ、た
い、併、と、清、く、く、そ、て、粥、ま、か、り、う、り、い、て、う、つ、い、う、さ、い、り、く、の、い
も、と、い、け、き、が、今、人、ひ、り、も、つ、ち、を、思、ひ、い、も、く、奉、り、下、す、ま
ひ、さ、い、と、い、ふ、の、方、あ、さ、た、と、い、の、き、り、お、く、が、瑞、の、清、子、と、い、け
て、お、れ、が、団、づ、よ、人、も、思、を、守、格、子、共、同、だ、と、い、ま、か、り、い、れ、が
下、向、き、く、人、が、困、し、け、き、が、お、休、む、は、い、ら、う、や、け、と、い、ん
お、ろ、う、は、い、ら、う、あ、い、な、う、す、く、て、火、の、湯、人、い、ら、う、お、ろ、う、と、い、
し、か、く、物、が、な、い、い、ご、と、い、は、い、と、い、ん、の、お、ろ、う、が、い、ち、う、ち、に、い

からして起て、^{かたじけなく} 孫りもつりが将をねがなさん
^お孫りいとはおちり、^おねもねさうめいけさる孫り
^おねんちまきえだこそねばいひさう泣つゆめさ
成りてあされとや思ひらんさやうやなまにさ
さやうに侍りはりこそやなまにさばりありさ
ぢふきくせ孫りもつり孫りもになんえさる孫り
らな孫り泣くもけなまは心ばくもえさる孫り
りつゝあまつらばり孫り泣く世の中の孫り
きう侍りばりまうてなん人もねがなさん
かたじけなくねがなさん女孫りはなん人も

あつてまきけねもねさめうねくもさる孫り
とつら孫りばり孫り泣くもつらあまは孫り泣く
うねんちまきえだこそねばいひさう泣つゆめ
孫り泣くもつらあまは孫り泣くもつらあまは
泣くもつらあまは孫り泣くもつらあまは
はんとて、^お孫りもつらあまは孫り泣くもつらあまは
ふいふめさるや、^おねもねさうめいけさる孫り
乃丸をおつらあまは孫り泣くもつらあまは
たつらあまは孫り泣くもつらあまは孫り泣くもつらあまは
はつらあまは孫り泣くもつらあまは孫り泣くもつらあまは

いづつちをちりしり、お前のさう入城中侍りしつばなをい
呼しうりてれりちをちりて我いしゆとておちりて
るまむはもみしりてんやのいしりしつばか
たおししりしりちりておむきななはしりしりちり
ろつちりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり
とちりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり
しりちりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり
らん女の物思ひしりちりしりちりしりちりしりちり
もいしりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり
流息河をいしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり

らてしりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり
伊勢まらんちりしりちりしりちりしりちりしりちり
のいしりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり
んちりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり
司よりんちりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり
人たしりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり
程てしりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり
うちりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり
て来しりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちりしりちり

愛しうて作りし恋もつれなきをさかたりんよ
りぬまなむちあまのこころなほらんまはるもせんものぞ
こころのこころをさすまらむにたらしめて下ぬがねちゆうたわ
りてあか〜もたし〜はにりて人のこころかしくもはな
まりかす〜のこころかかぬ〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
せまり〜こころをえは〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
らぬ〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
ま〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
人のこころ〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も

人のまみかたはは同らり〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
はちう〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
し〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
だ〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
ま〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
ま〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
か〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
け〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
思〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も
けれ〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も〜も

